

関西合同三田会奈良大会を無事終えて

奈良三田会会長 平越國和

好天に恵まれた 11 月 26 日、準備に準備を重ねた関西合同三田会奈良大会の当日がついにやって参りました。早朝から接遇部会、近鉄三田会の皆さんによって橿原神宮駅から橿原神宮に向かう御陵参道の沿道両サイドに三色旗の小旗が華やかに並べられ最高の雰囲気醸し出して頂きました。また寒い中、吉野の名水でコーヒースービスをしていただきました式典会場前の皆さまのご尽力に感謝申し上げます。

式典はワグネルソサエティー関西 OB 男声合唱団の 20 名の合唱で始まり、奈良三田会平越と関西合同三田会の銭高会長の歓迎の挨拶に続き、落合連合三田会副会長のご祝辞、そして今年の 5 月にご就任された長谷山彰塾長のご講演を拝聴しました。塾長は古代律令制度の研究家であり、奈良のことに大変詳しく、橿原の地にお越し頂いたのが、まさにタイムリーでなにか縁（えにし）というものを感じました。

式典後、呼び出し太鼓に誘われて 200 メートル程離れた懇親会場である神宮会館に向かいました。会場は宮司のお計らいで綺麗にリニューアルされていましたが、予想より大勢のお客様で奈良三田会の 8 テーブルは会場に入りきれず、恐縮ながら廊下に設けねばなりませんでした。和やかに会食が進み、談笑したり、写真を撮ったりしているうちに応援指導部リードで肩を組みながら応援歌を歌ううちにお開きになりました。関西の塾員同士の絆がさらに深まったことを全身に感じました。

今回の合同三田会の主管を奈良でお引き受けしてから約二年間、実行委員会が立ち上がって一年余り、吉田実行委員長を中心に各委員、部会長、顧問、相談役の皆さんが一丸となって、いろんなアイデアを出し、交渉打ち合わせをし、膨大な作業をして頂いて成功に導いていただきました。皆さまのお蔭で、関西合同三田会終了後、毎日のように各三田会の会員さんから、素晴らしい、心のこもった会であったというお言葉を頂戴しています。

今回は合同三田会始まって以来の前夜祭も企画し、関西各地からお越しいただいた 140 名を超える塾員の方々に和気藹々と晩秋の古都の夜長を楽しんで頂いたこともとても印象的でした。エクスカーションからご参加頂いた駒村常任理事様にご挨拶を頂きました。オープニング演奏に出演の畝傍高校吹奏楽部の皆さん、当地に縁深い大化の改新である乙巳の乱を演じてくれた「時空」の皆さん、大いに前夜祭を盛り上げていただきありがとうございました。

エクスカーションでは、奈良から 30 名を超す会員が申し込んで頂きながら定員オーバーの為にあきらめていただき、申し訳ございませんでした。さらに、エクスカーションの係りの方々も下見をはじめ、当日は精一杯の心遣いをありがとうございました。

また、来賓の方々を送り迎えして下さった方々、写真を撮りに回って下さった方々、いけばきりが無いほど活躍頂いた皆さま、本当にありがとうございました。

また 5 名の会員の方々からは出席者の皆様へのお土産をご提供頂きありがとうございました。何はともあれ全ては奈良三田会のメンバーの皆様方の熱い母校愛に支えられて成功裏に終了できましたことを心より感謝致します。